

事業番号	08 04 02	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	皆で取り組む園芸振興事業費			担当課	部局	農政部
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			課・室	園芸畜産課	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
				実施期間	H17 ~	

### 1 事業の概要

目指す姿	行政・研究・生産・流通・販売団体等が組織横断的に連携し、相互の英知を結集しながら生産振興に係る広域的な課題や重点的な取り組み方向、消費者からの求評等の各種課題等に対し協働して、一体的な体制で取り組むことにより、競争力と収益力の高い園芸産地の育成を目指す。
現状	長野県の園芸作物(果樹、野菜、花き、きのこ)は、県農業産出額の70%(平成22年度の園芸作物産出額1,942億円、全国第4位)の主要部門であり引き続き生産力の維持が重要な課題となっている。特に、園芸作物の生産において、多様な気象条件を有する県土の利点を活用しながら、重要な生産課題を設定し構成団体が力を結集して解決につなげ生産力を維持することが重要である。

県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input checked="" type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他( )	<b>【左記の説明、根拠法令等】</b> 園芸振興に効果的な施策を展開し、県民の主体的な参画と協同を促す。 長野県食と農業農村振興計画
----------	--	---

事業内容	① 成果目標(H24)					
	<input type="checkbox"/> 果樹:高品質果実生産のための研修会等の開催 30回 <input type="checkbox"/> 花き:実もの花木等の実証ほ設置2カ所 <input type="checkbox"/> 野菜:野菜収量性向上モデル園の設置20カ所					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H24事業実績		
				H24 (当初)	H24 (決算)	H25 (当初)
	県オリジナル果樹品種等の生産拡大及び消費と連動した生産振興	補助金	長野県園芸作物振興協議会 高品質果実生産のための研修会等の開催 30回	1,708	1,708	1,537
	高品質な花きを安定生産するための生産・流通技術の導入	補助金	長野県園芸作物振興協議会 実もの花木等の実証ほの設置 2カ所	626	626	563
	野菜の品質向上及び多品目化等実需者が求める生産の推進	補助金	長野県園芸作物振興協議会 野菜収量性向上モデル園の設置 20カ所	861	861	1,130
	野菜優良品種選定調査事業	委託料	長野県園芸作物振興協議会 39カ所、14品目	395	395	0
			合計	3,590	3,590	3,230

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度
	前年度繰越				
	当初予算	4,659	3,977	3,590	3,230
	補正予算				
	合計(A)	4,659	3,977	3,590	3,230
	国庫支出金				
	県債				
	その他( )				
	一般財源	4,659	3,977	3,590	3,230
	決算額(B)	4,659	3,977	3,590	
概算職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	
概算人件費	2,495	2,477	2,477	2,477	
概算事業費(B(A)+C)	7,154	6,454	6,067	5,707	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H24			H25 目標
		目標	成果	達成状況	
高品質果実生産のための研修会等の開催	28回	30回	30回	達成	-
実もの花木等の実証ほの設置	2カ所	2カ所	2カ所	達成	-
野菜収量性向上モデル園の設置	20ヶ所	20カ所	20カ所	達成	21カ所
果樹早期多収・省力栽培研修会	0回	-	-	-	3回 100人
カーネーション等の出荷量・品質の向上に向けた実証ほ	0カ所	-	-	-	9カ所

目標に対する成果の状況	農業試験場で育成された新品種の展示や、研修会の開催等により新たな技術の普及、各産地における生産上の課題解決に向けた試験や検討会の開催などに取組み、本県園芸の競争力や収益力を高めるための活動が目標どおりに実施できた。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	本県の園芸産地を取り巻く情勢は、高齢化の進展や生産資材費の高騰、温暖化による異常気象など引き続き広域的な課題や重点的取組方向など、競争力と収益力の高い園芸産地育成に向けた課題があることから、今後も現行どおり実施する。